

今後のスケジュール（案）

○ 第5回検討会（6月22日）

以下の2点について、中間的まとめ

- ・温暖化に伴う最近の気象変化と米生産への影響（最終版）
- ・今後の平年収量への反映のあり方【温暖化の影響】（案）

○ 本年秋頃

19年産米の作柄を見極めつつ、以下の点などを検証

《 検証の内容 》

- ① 19年産米の作柄と高(夜)温の関係分析
- ② 今後の平年収量の見通し等について、地方公共団体、JA、NOSA I等の地元関係者と意見交換

○ 第6回検討会（諸データが揃う12月頃）

20年産以降の平年収量への反映のあり方を決定

○ 年明け

有識者からなる「水稻10a当たり平年収量決定委員会」（仮称）

『食料・農業・農村政策審議会統計部会の代替』の意見を聴いた上で、20年産の平年収量を決定